

令和4年度 決算のお知らせ

7月26日開催の組合会において、令和4年度決算が議決、承認されましたので、その概要についてお知らせいたします。

【一般勘定】医療費・納付金等の支払いのための勘定

【収入】

合計は5,377百万円となりました。主な収入内容は次の通りです。

令和4年度は保険料率を前年度から0.5%下げた結果、皆様から徴収した保険料による収入は5,285百万円となりました。その他高額医療に対する交付金や事業所からの法定健診受託料の収入がありました。

【支出】

合計4,775百万円となりました。主な支出内容は次の通りです。

■医療費

医療費支払による支出は2,080百万円となりました。前年度はコロナの影響による医療機関への受診控えが解消し、コロナ前の水準となりました。一方、令和4年度はコロナに罹患したことによる医療機関への受診が増えたことで、被保険者本人・家族ともに医療費が増加しました。その結果、医療費全体として前年度対比で115百万円、被保険者一人当たり1,221円増加しました。

■納付金

高齢者世代への財政支援である納付金による支出は2,047百万円となりました。これは、前期高齢者納付金の過年度の精算金戻り額があったことから、納付金・支援金全体として前年度から458百万円減少し、被保険者一人当たりで81,915円減少しています。

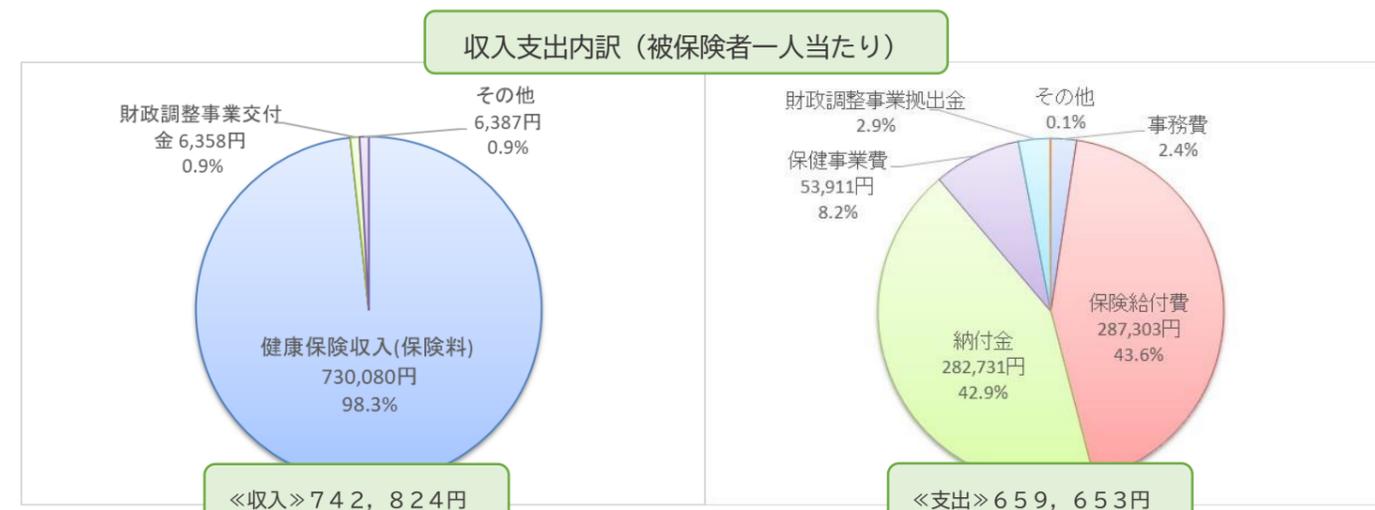
■保健事業費

保健事業費は、医療費と同様にコロナの影響による健診受診控えの解消、人間ドック費用の増加等を背景に、前年度より42百万円増加し390百万円となりました。

以上、収入支出差引額は**602百万円の黒字**となりました。

なお、収入支出差引額602百万円のうち、翌年度に繰り越すことが定められた財政調整事業繰越金を除いた額を別途積立金に積み立てることにいたしました。

基礎数値		総額 (百万円)			
		収入		支出	
・被保険者数	7,239人	健康保険収入(保険料)	5,285	事務費	114
・平均標準報酬月額	666,825円	財政調整事業交付金	46	保険給付費	2,080
・総標準賞与額	310億99百万円	その他	46	納付金	2,047
・平均年齢	43.49歳			保健事業費	390
・扶養率	1.10人			財政調整事業拠出金	140
・収入決算高	53億77百万円			その他	4
・支出決算高	47億75百万円	収入合計	5,377	支出合計	4,775
・保険料率	6.00%				



【介護勘定】介護保険制度維持のための勘定

介護保険の運営は市町村と特別区が行っています。健康保険組合は、40歳以上65歳未満の被保険者の方から介護保険料の徴収を行い、定められた金額を国に納めるという回収代行的な役割を果たしています。令和4年度の**収入は864百万円、支出は796百万円(前年度比+3百万円増)、収入支出差引額は68百万円の黒字**となりました。

高齢化が進行し、今後ますます介護保険の需要が高まってくるので負担は増加していくものと思われます。

なお、収入支出差引額約68百万円の内、令和5年度予算で予定した60百万円は令和5年度に繰越し、残りを準備金に積み立てることにしました。

注) 端数処理の関係上、文中と表で数字が合わない場合があります。

基礎数値		総額 (百万円)			
		収入		支出	
・介護保険第2号被保険者たる被保険者数	3,762人	介護保険収入	826	介護納付金	795
・平均標準報酬月額	703,115円	繰越金	38	介護保険料還付金	0
・総標準賞与額	154億60百万円	雑収入	0		
・保険料率	1.76%	収入合計	864	支出合計	796